

# タットン会 通信

2006. 3. 25

今年度のタットン会は、独立行政法人福祉医療機構（障害者スポーツ支援基金）からの助成金交付も受けながら活動しています。より多くの方々と共に障がいに対する理解を深めていきたいと思っています。

◎タットン会ホームページ <http://www.geocities.jp/tattonkai/>

タットン会と入力しても、検索できると思います。試してみてください。

◎日時・場所についての確認のみ → ボランティアセンター 046 (825) 0017

とうとう4年目最後—44回目のタットン会、これまで皆様のご協力で、大きな怪我も事故もなく運営できたことを本当に感謝しています。

2月18日、43回目は朝早くから追浜中卓球部員のお手伝いもあって、9時前には準備が完了。久しぶりに友さん（岩間さん）の受け付けお手伝い（ボランティア）も助かりました。休憩時間には卓球の部ではチャンピオン戦。バドミントンの部では、事務局石田様を中心にダブルス戦でのタットン会新ルールの検討が行われていました。はたして、どんなルールなのか？来年度5年目に向かって、とても楽しみです！



また、事務局員に森田誠さま・播岡聡さま・鈴木さま3人の新加入がありました。タットン会当日の事務局員は、参加者にパートナーがきちんとつけているか？遅れてきた方に対応するか？等々、会場全体を見渡している必要もあるのですが、時には周りを見る余裕がなくなってしまうこともあります。事務局員として一緒に考えてくださる方が増えることは、（運営力アップにも繋がって）有り難いことです。終了後は、美香さん自らの楽しかった感想発表をしてくれたのもうれしい事の一つでした。

## お知らせ

いつも用具購入などでお世話になっている三久スポーツさんから、素敵な品々をプレゼントして頂きました。最高参加回数（37回）の方や事務局員への贈り物として活用させていただこうと思っています。

## 感想・参加者カード・気がついたこと～より

- ※1 前半は風船バドミントン、良く風船を追いかけていました。少し小さめの風船で落下速度を速くしてやってみましたが、縦の長さが25cmくらいはないと上手く打てないようでした。少しずつ風船を小さくしていければ良いなあと思いました～。(H・T)
- ※2 ラリーは38回が最高でした。最後までラリーを続けることに意欲的でした。途中バスケットゴールに入ったとき『ゴール!』と言ってしまったため、その後3回くらいわざとゴールに向かって打っていました。(H・S)
- ※3 今日はバドミントンに挑戦しました。卓球よりも力を入れてシャトルを打てるフィーリングを味わいたかった事が理由の一つ。ただ、シャトルは少し難しいようで途中から風船に変えたところ連続して打てる楽しさを実感できたようで良かったです。雄基君が加わり3人でプレーすることも出来て有意義でした。これまで担任と1対1の関係でいる時間が長く、複数で楽しむ事の大切さを教えてあげたい。(O)
- ※4 24回ラリーが続きましたが、膝が痛くなるようで休憩も何回かとりました。『体重を落とせば、もっと上手くなるからウキウキしましょう!』という『やらない』とのこと一もったいないです。(N)
- ※5 遅れてきたので休み時間を利用して、ラリーの打ち合い。その後チャンピオン戦に参加し、休憩時間が終わると自分から相手を探していました。(H・A)
- ※6 今日は5回続けられました。私が出来ないときに美香さんが励ましてくれて、打ち方まで教えてくれました。お兄さん達と試合もやり、カッコイイサーブを見せてくれました。(I)



※7 卓球のラリーは 10 回続きました。右の方に返すと上手く続きました。後半は、バドミントン(風船)をやりました。風船の動きがゆっくりなのでラリーは続き、手足もたくさん動いていました。(S)

# 進路と余暇を考える

しょうがい児者の

パート 6

第1回から参加して、まる4年経過しています。子どもにとって月1回のタットン会は彼のスケジュールに定着し、とても楽しみなものになっています。誰にとっても楽しいと思うことは大きなモチベーションになります。長く続けてこられているのはその気持ちがあったからこそ、です。もちろん親である私にとっても同じです。

ところで、しょうがいがあるというのはそのことが不幸ではないとよく言われます。しかし、社会参加の機会は圧倒的に少なくなってしまう。特に余暇というのは生活に直接影響しないことで、これまで日本ではあまり重要視されていませんでした。われわれの生活だってそうです。“遊び”に対する市民権は近年になってからです。

SO(スペシャルオリンピックス)のようにアスリートを目指すこともすばらしいことですが、日常の気分転換やたのしみのひとつとして位置づけられるようなスポーツが身近にできることはありがたいことです。タットン会がその位置づけにあることは今さらいうまでもありません。

知的しょうがいのある子どもは養護学校卒業後、とくに肥満になりやすいという現状があります。栄養の取り方とスポーツがうまくかみ合うことで楽しく健康が保たれるのではないのでしょうか。スポーツの機会を与えてくれるのは何もタットン会だけではありませんが、周りを見渡してみると、しょうがい児者にとっては、とても機会が少ないのが現状です。タットン会がひとつのきっかけとなり、しょうがい児者に対するスポーツの輪が広がっていく事を願わずにはいられません。 会場お尋ね隊 若林千波

## 第44回タットン会 本日 3月25日の流れ 於 県立保健福祉大学

9:00～ 準備・受付

9:30 本日の説明 ペアになって、カード読み・聞き取り 自己紹介・握手をしよう！  
体操(ディズニーorラジオ体操)、各種目へ(持続回数に挑戦など)

10:20 休憩

10:40～ 後半競技～(試合形式)

11:10頃 パラシュート!

11:20頃 片づけ・モップ、集合隊形  
(手話コーナー)・けがの確認

11:40頃 解散です!

※一緒に楽しんで下さる事務局 ボランティアさんは、いつでも募集中です!



※『おもしろ教材』=短期研修仲間を紹介してもらった、遊び感覚でできるパソコンゲームです。タットン会ホームページにリンクして貰いました。インターネットで検索して見て下さい! →楽しんで下さっている方も増えております! タットンかず

今後のお知らせ 《 5年目 2006年度の活動予定 別紙 》

5年目のスタートは  
5月20日(土)サブアリーナでお会いしましょう!  
6月17日(土)県立保健福祉大学予定